

動画制作の 料金相場ガイド

映像制作・YouTube運用・スチール撮影の価格帯と、
見積もりの内訳の読み方。
各社が公開している料金情報をもとにまとめました。

01

映像制作の相場

採用動画・企業VP・
セミナー収録・インタビュー

02

YouTube運用の相場

月額運用・初期費用・
契約期間

03

スチール撮影の相場

時間制・カット数制・
納品とレタッチ

このガイドの読み方

動画の料金は「一式いくら」で語られがちですが、実際には工程ごとの積み上げです。このガイドでは、各社がWebで公開している料金を集め、**用途別の価格帯**と、**何で金額が動くのか**を整理しました。

POINT 01

金額は「目安の幅」で見える

同じ「採用動画」でも、撮影日数・尺・出演者の数で数倍変わります。上限と下限の両方を見て、自社の条件がどちらに近いかを考えてください。

POINT 02

税込・税抜が混在しています

各社の表記をそのまま採録しているため、税込と税抜が混在します。比較のときは1割の幅を見込んでください。

POINT 03

「～円～」は下限です

多くの会社は最低価格だけを公開しています。実際の見積もりは条件が乗って上がるのが普通です。

POINT 04

内訳が出る会社を選ぶ

企画・撮影・編集が分かれた見積もりなら、削る場所と守る場所を自分で決められます。一式見積もりでは比較ができません。

金額を動かす6つの要素

要素	金額への影響
完成尺	編集時間に直結。3分と10分では編集費が2～3倍になることがあります。
撮影日数・場所数	1日追加ごとに人件費・機材費・移動費が乗ります。まとめ撮りが最も効きます。
カメラ台数・スタッフ数	多カメラ収録や照明・音声の専任がつくと、1日あたりの費用が増えます。
出演者・ナレーション	キャスティングやプロのナレーション収録は別費用になるのが一般的です。
修正回数	「〇回まで無料」の範囲を超えると1回ごとに費用が発生します。事前確認が必須です。
納期	短納期は割増になることがあります。逆に余裕があると調整しやすくなります。

映像制作の相場

用途別に、各社が公開している価格帯をまとめました。

用途	価格帯の目安	公開情報の例
インタビュー・導入事例 3分前後	17万～50万円	17万円～（動画幹事掲載社）／30万円～（エレファントストーン）／50万円～（Crevo）
採用動画	30万～150万円	30万円～・撮影1回4時間・尺3分（メディアフォーユー）／50～80万・80～150万（ムビハピ）
企業VP・会社紹介	50万～300万円	50～100万・100～200万（ブルークス）／50～100万・100～300万（サムシングファン）
サービス紹介動画	30万～100万円	エントリー30～50万・スタンダード50～80万（ブルークス）
セミナー収録・イベント記録	10万～50万円	コスパ重視プラン10～30万（GJC）／2本セット20万・5日（動画製作所）
撮影のみ・編集のみ	5万～10万円	5万円～（動画幹事掲載社）／10万円（サムシングファン）／撮影のみ2.7万円～（ライトプラン）
WebCM・TVCM	100万～500万円～	WebCM 100万円～・TVCM 500万円～（Crevo）

価格帯で、できることが変わります

～30万円

撮影1回（半日～1日）・1カメ・尺2～3分。テロップとBGM。インタビュー、セミナー収録、撮影のみ・編集のみの依頼。

30～50万円

撮影1日・構成案と台本つき・尺3～5分。採用動画、サービス紹介の標準的なレンジ。

50～100万円

撮影2日以上または多カメラ・ナレーション収録・複数本納品。企業VP、ブランディング系。

100万円～

大規模ロケ、キャスティング、アニメーション併用、広告出稿前提のCM。

見積もりの内訳は、こう読む

工程ごとに分かれた見積もりなら、次の5つの塊に整理できます。どこが高いのか、どこを削れるのかが見えます。

工程	含まれるもの	確認したいこと
企画・構成	ヒアリング、構成案、台本、撮影プラン（カット表）	構成案の修正回数。撮影前に「何を撮るか」の表が出るか
撮影	カメラマン・ディレクター人件費、機材、照明・音声、スタジオ、移動	日数と時間、カメラ台数、延長時の単価、交通費の扱い
編集	カット編集、テロップ、BGM・効果音、カラー、MA（音の仕上げ）	完成尺、テロップの量、ナレーションの有無
修正	初稿・最終稿の修正	無料の回数と、超えたときの単価
納品・その他	書き出し、縦型展開、素材の保管、著作権の扱い	納品形式、二次利用の範囲、素材データの受け渡し

一式見積もりを受け取ったら

「企画・撮影・編集で分けるといくらですか」と聞いてください。分けられない場合、どの条件が変わると金額が動くのかが分からず、比較も交渉もできません。分けて出せる会社は、削る提案もできます。

追加費用が出やすいポイント

- 撮影が1日で終わらず、追加日程が発生した（当日の段取り不足が原因のことが多い）
- 修正が無料回数を超えた（構成の段階で決めきれていない）
- ナレーション・BGMの有料素材・出演者の手配が見積もりに入っていなかった
- 撮影場所の使用料、交通費、駐車場代が「実費」扱いで後から乗る
- 縦型への展開、別サイズの書き出しが別料金だった

YouTube運用の相場

運用代行は「月額×本数」が基本単位です。制作のみ、投稿・分析込み、戦略設計込みの3層で価格が分かります。

サービスの層	価格帯の目安	公開情報の例
動画制作のみ 1本あたり	2.5万～6万円	25,000円～・40,000円～・60,000円～（ムービス）／1本25,000円（mooving）／ショート7,500円（HolyTech）
月額運用（月4本） 企画・撮影・編集・投稿	10万～30万円／月	月額10万＋初期15万（mooving）／月額12万～＋初期16万（VIDWEB）／月4本10万円～（ムービス）／24万円～（Xcuu）
戦略設計・コンサル込み	30万～50万円／月	運用支援30万円/月～（サムライト）／月額50万・月8本＋コンサル（サムシングファン）
初期費用	0～50万円	新規16万・既存10万（VIDWEB）／15万（mooving）／初月のみ50万（Lumii）
最低契約期間	6か月が多い	最低6ヶ月（ムービス）／最短6ヶ月から（Xcuu）

月4本

週1本のペース

撮影は月1回のまとめ撮りが標準。最も多い基本プラン。

月8本

横型＋縦型

横型4本に縦型の切り出しを足す構成が多い。

月12本

縦型を主軸に

ショート中心で接点を増やす。編集単価は下がる。

見落としやすい条件

- 「撮影」がオンライン撮影（自社で撮った素材）前提で、現場撮影はオプションのことがある
- 月次レポートと定例ミーティングが含まれるか。含まれないと「投稿して終わり」になりやすい
- 本数を減らしたときに契約が続くか、解約扱いになるか

スチール撮影の相場

法人向けの出張撮影は「時間制」「プラン制（時間×目安枚数）」「カット数制」の3つの決め方があります。

決め方	価格帯の目安	公開情報の例
時間制	1時間 1.25万～3万円	1時間12,500円・最低4時間 (deltaphoto) / カメラマン1時間 29,700円+機材9,700円 (HATONOMORI)
プラン制 (2～3時間)	3.5万～4.8万円	ライト35,000円～ (deltaphoto) / 3時間 39,800円・100枚程度 (ヒストリ) / 2時間 43,000円 (フォトサービス) / 3時間 47,500円 (撮影パートナー)
プラン制 (6時間)	6万円～	6時間59,800円・200枚程度 (ヒストリ)
カット数制 (商品撮影)	基本1.1万+1カット3,300円～	基本料金11,000円+3,300～11,000円/カット (トレス) / 1カット5,000円～ (撮影パートナー)
プロフィール撮影 (出張)	5万～7万円	50,000円～ (MAGICPORT) / 1時間 68,000円 (しいれいフォト)

納品について

- 納品日は「当日」「翌営業日」「2～3日」「1～2週間」まで幅がある
- 色・明るさの基本調整は込みが主流。肌補正・切り抜きは別料金
- JPGをダウンロードURLで納品するのが一般的

確認したいこと

- 交通費は定額か実費か（都心は定額が多い）
- 撮影枚数の上限と、納品点数の目安
- Web・印刷・SNSでの利用範囲と著作権の扱い
- 動画の撮影と同じ日に撮れるか（同日なら拘束が1日で済む）

見積もりを受け取ったら、 この10項目を確認する

どの会社に頼む場合でも、この10項目が書面で明らかになっていれば、あとから揉めません。

- ☐ **内訳** 企画・撮影・編集・修正・その他に分かれているか
- ☐ **修正回数** 工程ごとの無料回数と、超えたときの単価
- ☐ **納期** 撮影日・初稿・納品の日付が書かれているか。確認の期限は誰が持つか
- ☐ **撮影の条件** 日数・時間・カメラ台数・スタッフ数。延長時の単価
- ☐ **追加費用の条件** 何が起きたら追加になるか。着手前に相談があるか
- ☐ **出演者・ナレーション** 手配は誰がするか。費用は含まれるか
- ☐ **交通費・場所代** 定額か実費か。スタジオが必要な場合の扱い
- ☐ **著作権・二次利用** Web・印刷・SNS・広告での利用範囲。縦型展開や再編集の可否
- ☐ **素材データ** 撮影素材を受け取れるか。保管期間はどれくらいか
- ☐ **キャンセル規定** いつまでなら無償か。着手後の中止時に請求される範囲

「完成イメージが見えないまま進めるのが不安」なら

発注前に、構成案と撮影プラン（何を何秒撮るかの表）を出してくれる会社を選んでください。
完成イメージと費用を確認してから、発注を決められます。

MATIAの考え方

株式会社MATIAは、編集（ポストプロダクション）を主軸にした映像プロダクションです。編集で使うカットを撮影の前に決めるので、「あの画も撮っておけばよかった」が起きません。

01

発注前に、撮影プランと構成案を無料でご提案

完成イメージと費用を確認してから、発注を決められます。

02

料金と納期は、発注前に確定

工程ごとの内訳、修正回数（構成3回・初稿2回・最終1回）、納期をお見積りに明記。当初のお見積りを超える請求はしません。

03

代表・笹澤が、全案件を監修

高校生のころから編集者としてキャリアを始めた代表が、構成から仕上げまで編集の目で監修します。

「動画を作りたい」の、一歩手前からご相談ください。

まだ作るか決まっていない段階でも大丈夫です。ご相談・お見積り・撮影プランのご提案はすべて無料。2営業日以内にご返信します。

お問い合わせ information@matia-jpn.com | Webサイトの無料相談フォームから

社名	株式会社MATIA（屋号 Feliz Production）
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目8番15号 パークフロント新宿 202号室
役員	代表取締役CEO 笹澤環太／専務取締役COO 増山翔太
事業内容	映像制作事業／YouTube運用事業／スチール撮影事業